

普及現地情報



発信年月日：令和3年（2021年）9月1日

所属名：甲賀農産普及課

番号：C21013

部門分類：150（野菜）

発信者名：井上

キュウリ栽培におけるICTバルブを利用した自動葉水の導入

甲賀管内では、8戸において約1haの抑制キュウリ栽培が行われています。

抑制キュウリ栽培では、7月下旬から定植作業が行われていますが、近年の猛暑により夏期ハウス内の温度もさらに高く推移するようになり、高温障害による減収が課題となっています。今回、その対策としてICTバルブを利用した自動葉水の取組を実施しました。

抑制キュウリ栽培において定植直後は、ハウス内の温度が非常に高くなることから、従来は、高温障害を回避するため、遮光資材やサイド・天窓の開閉、葉水（葉へのミスト散水）などの対策を行っていました。遮光資材等の開閉については自動化できていましたが、葉水については栽培者がハウス内の温度を確認し手動で行っており、常にハウスで管理することができないことから、実施の回数や時期が適切とは言えない状況にありました。

そこで、昨年度に農業技術振興センターと連携しICTバルブ（温度による開閉設定ができる電磁弁）を利用した自動葉水技術展示圃を設置したところ、収量性が向上する等良好な結果が得られました。そして、今年度管内の生産者に対し働きかけたところ、5戸（4,000㎡）で導入され、現在、導入されたハウスでは、生育量が揃っているほか葉焼け症状等の高温障害が改善されています。

今後も、各生産者の生育状況に合わせた管理が出来るよう更に支援を行っていきます。



ICTバルブの設置指導



葉水散布後の状況